

いつも頑張ってくれているお父さんへ

感謝を伝える父の日

1年で最も日長い日

夏至について

6月限定

子鹿公開～赤ちゃん鹿大集合！

感謝を伝える父の日

いつも頑張ってくれているお父さんへ

6月18日は、父の日。

なぜ、6月の第3日曜日が父の日なの？

「母の日のように父親にも感謝する日を!」と、
牧師協会へ嘆願したアメリカワシントン州に住む
ドット夫人の父親の誕生月が6月で、
1910年6月18日の第3日曜日に
礼拝をしてもらったことがきっかけだと言われています。

なにを贈ればいいの？

「母の日」にカーネーションを贈ったように、
アメリカでは「父の日」にバラを贈る習慣があります。
日本では、1981年に設立された
「**FDC 日本ファーザーズ・デイ委員会**」が
「**父の日黄色いリボンキャンペーン**」を展開。
幸福や喜びの象徴である黄色を
父の日のイメージカラーとしました。
そのため、黄色いバラやヒマワリ、ガーベラなどが人気です。

アルコール類やビジネスアイテムなども人気の贈り物。



渡すときは「いつもありがとう」のひと言も忘れずに。
素敵な父の日にして下さいね♪



夏至について

1年で最も日長い日

2023年の夏至の日は、6月21日です。

北半球においては、1年のうちで
最も昼の時間(日の出から日没までの時間)が長くなるため、
「1年で最も日長い日」としておなじみです。

○ 夏至の風習と食べ物

夏至の期間に半夏生があるため、
この時期には**豊作祈願の食べ物**を食べる習わしが各地にみられます。
また、麦の収穫を終える頃なので、
小麦を使った食べ物を用いるところもあります。

関西では、**稲の根がタコの足のよう**に
強く深く広く大地に根付いて欲しいと願い、タコを食べます。

香川県では、**収穫した小麦でうどんを打ち、**
農作業を手伝ってくれた人たちに振る舞います。

夏至にいたると最も夜が短くなります。
夏の短い夜のことを「**短夜(みじかよ)**」と呼ぶようになり、
夏の季語として親しまれるようになりました。

夏至の短夜をいつくしむかのように**蛍狩り**をすることや、
最低限の光で短夜を過ごすためのライトダウン、
キャンドルナイトなどのイベントをすることがあります。

子鹿公開～赤ちゃん鹿大集合！

6月限定!!

毎年5月中旬ごろから奈良公園では鹿の出産ラッシュ。

6/1(木)～6/30(金)は、そこで生まれた子鹿を特別に公開!
かわいらしい赤ちゃん鹿を間近に見ることができます。

開催期間：2023/6/1(木)～6/30(金)期間中の火～日
11:00～14:00(最終入場 13:30)
※小雨決行・荒天中止

料金：大人 300円、高校生以下 無料

場所：奈良市春日野町 160-1

アクセス：JR 奈良駅・近鉄奈良駅から
バス「春日大社表参道」下車、徒歩約7分



6月の月こよみ

